

ボーリング調査、岩礁破壊に抗議し、 辺野古新基地計画撤回を求める申し入れ書

本日午後、沖縄県は沖縄防衛局に対し辺野古ボーリング調査に関わる岩礁破碎中止など海上作業停止を指示した。本日まで提出を求めた回答もなく、その不誠意を知事は非難した。

これは政府・沖縄防衛局の一方的な調査強行策が招いた結果である。深く、責難はボーリング調査と岩礁破碎を中止し、辺野古・大浦湾を平和の海に回復させるべきである。

翁長・沖縄県知事は本日、最大の決断をくだした。「このまま基地建設の工事が続けば、子たち・孫たちを今後100年の苦しみに直面させる。沖縄戦以来、味あわされてきた苦しみをここで断ち切らなければならない」と。

去る8月12日、沖縄防衛局は、昨年9月以降中断を余儀なくされていた辺野古の海底ボーリング調査を再開した。「夏ごろ」とされている埋立本体工事に直結する調査だ。「辺野古に基地はつくらせない」「ジュゴンの棲む美ら海を守れ」という揺るぎない沖縄の民意を踏みにじる暴挙であり、断じて許すことはできない。直ちに深場のボーリング調査を中止し、辺野古新基地建設計画を白紙に戻すべきだ。

年明け以降も、辺野古では凄まじい事態が進行している。キャンプシュワブのゲート前でも、大浦湾の海上でも、全国から動員された海上保安庁と警察機動隊の暴力的弾圧で、作業強行に抗議する市民の負傷者が続出している。不当逮捕も相次いだ。2月22日のゲート前県民大集会直前には山城博治沖縄平和運動センター議長ら2名が米海兵隊警備員により基地内に引きずり込まれ、数時間に及ぶ拉致監禁、刑特法違反容疑による不当逮捕という前代未聞の事態さえ起こっている。また、沖縄総合事務局北部国道事務所の職員を動員して24時間の監視体制を敷き、ゲート前座込みテントの排除さえも狙っている。

これらは全て、官邸の強硬姿勢を直接反映した動きだ。沖縄の民意、県知事・県議会・地元各市長・市議会の作業中断要請を無視し、翁長知事との面会さえも避け続けて突き進むその姿は、独裁国家と変わらない。「民主主義国家」の体裁さえもかなぐり捨てたと言わざるを得ない。「引き続き沖縄の方々の理解を得る努力を続ける」（2月12日の施政方針演説）とは、まさに地元紙も指摘するとおり「虚言もここに極まれり」（2月13日琉球新報社説）というほかないではないか。

翁長知事が作業中断要請した1月26日の翌日から、フロートヤブイの「アンカー」と称するコンクリートブロックが大浦湾に投下され始めた。最大45トンという巨大なコンクリートの塊が珊瑚を破壊している現場が県の調査で確認された。仲井真前県政が許可した岩礁破碎申請の区域外の出来事だ。県は立入制限水域内の調査も求めたが、米軍によって「運用上の理由」で拒否された。一方で沖縄防衛局が制限水域内を潜水調査している事実が暴露された。なぜ県の調査を認めないのか。日米結託した隠蔽工作ではないのか。ヘリ基地反対協は、3月13日、井上沖縄防衛局長を県漁業調整規則違反で告発した。さらに埋立承認申請書にもなかった長さ300mにも及ぶ「仮設岸壁」建設工事を強行しようとしている。沖縄防衛局は「海上ボーリング調査のための仮設桟橋。調査終了後に撤去する」と言い繕っているが、すでにボーリング調査を再開していることと矛盾するではないか。「仮設岸壁」建設に投入される石材は、キャンプシュワブ内に積み上げられている。大型ダンプ5000台以上という巨大なものであり、大浦湾の事実上の埋め立てにほかならない。絶対に認めることはできない。

辺野古に造られようとしているのは、単なる「普天間代替施設」ではない。大型の強襲揚陸艦

も接岸できる軍港機能を備えた巨大軍事基地だ。陸上自衛隊も常駐し、共同使用することが防衛省の内部文書で暴露されている。100年、200年先まで沖縄を日米共同の軍事植民地にし続けようというのか。

去る3月21日、大浦湾に面する瀬嵩の浜で大集会が開かれ、3,900人が参加した。

安倍首相よ！ 沖縄全島から駆けつけ、埋立予定地の眼前に摩り込む人々の怒りの声が聞こえないか！ 命を育む美ら海、沖縄戦の死者が眠る鎮魂の海の悲鳴が聞こえないか！

私たちは、沖縄の民意を踏み潰すことを許さない。そして日米両政府が押しつける軍事植民地状況を拒否する沖縄の人々と連帯し、闘い続けることをここに宣言する。

- 一 辺野古ボーリング調査を直ちに中止せよ！ コンクリートブロックを回収せよ！
- 一 「仮設岸壁」建設のための石材投入を止めよ！ 珊瑚礁の破壊を止めよ！
- 一 辺野古・高江の新基地建設計画を撤回せよ！ 普天間基地を即時無条件に閉鎖せよ！

2015年3月23日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

東京都千代田区三崎町2-2-13-503

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック知行

辺野古への基地建設を許さない実行委員会

連絡先：090-3910-4140